

令和7年度 那須クリーンキャンペーン報告書

(栃木県山岳スポーツクライミング連盟 共催)

実施日：令和7年9月7日（日）

参加者：会員：渡邊、林、菱田、猿山、福田、仲畠、松金、後藤

ゲスト：猿山夫人

行程 集合：八幡県営駐車場 6:40 峠の茶屋駐車場（クリーンキャンペーン開会行事参加）
7:30 峠の茶屋 8:20 → 峰の茶屋 9:00 → 避難小屋 → 両部の滝 10:30 → 登山道
14:00 → 姥が平 14:30 → 牛ヶ首 15:00 → 峰の茶屋 15:20 → 峠の茶屋 15:50

昨年は台風の影響により中止となった那須クリーンキャンペーンですが、今年は好天に恵まれ、無事に開催されました。朝6時には渡邊支部長が会場に到着。すでに駐車場はほぼ満車で、他のメンバーの車はロープウェイ付近の駐車場に停めることとなりました。

今年のキャンペーンでは「携帯トイレの普及」がテーマだったよう



で、岩手県の早池峰山で活動されている方が参加され、携帯トイレ普及活動についてのお話を伺うことができました。那須は登山者が多く訪れる一方で、登山道にはトイレが設置されていないため、今後は携帯トイレブースの設置などを検討する必要性を強く感じました。

開会行事終了後、昨年中止となった「両部の滝」と「御宝前の湯」を目指して山行を開始しました。峰の茶屋から避難小屋へ降り、休憩

後に三斗小屋方面へ向かいました。途中、登山道から藪を越えて道のないルートに入りましたが、踏み跡やピンクのテープが所々に確認できました。地図で方向を定めながら斜面を下り、沢に降りる最後の地点では急傾斜があり、ルートを誤ると崖に出てしまう危険もありました。篠竹の藪を越えると沢に降りることができ、そこから少し沢を登ると、二つの大きな滝が現れました。

両部の滝は、幅広の右側と幅の狭い左側の二つから成り、それぞれ趣が異なります。訪れるのが難しい場所ではありますが、一度は訪れる価値のある滝です。ただし、今回のルートは誰でも容易に踏破できるものではないと感じました。

次の目的地である御宝前の湯へは、沢を下った地点まで戻り、対岸側に「両部の滝」と記された個人作成の表示があり、そこからは明瞭な踏み跡が続いていました。進んでいくと、子連れのサルの群れに遭遇。那須では群れに出会うことは稀ですが、近年増えてきているのかもしれません。

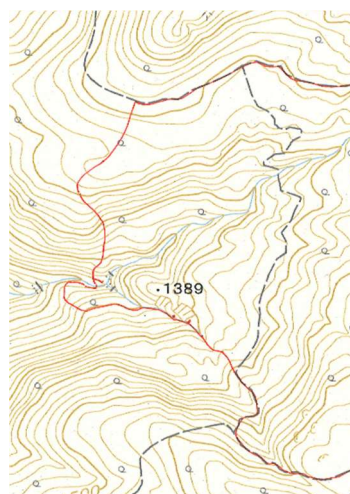
さらに進むと温泉の導水管沿いの道に出ました。この導水管を辿って沼ッ原方面から両部の滝を目指す登山者が

多いようで、道も整備されており歩きやすく感じました。



さて、御宝前の湯についてですが、源泉施設と思われる場所には到達したものの、目指していた湯だまりのある地点を見つけることはできませんでした。下山後にネット情報を確認したところ、計画書に記した地点がまさにその場所であり、近くまで行っていたことが判明。計画立案者である私自身が昨年調査した際に記した地点を失念しており、参加者の皆様には申し訳なく思っております。

源泉施設から踏み跡を辿り、藪を抜けると登山道に合流できました。そこからは姥が平、牛ヶ首、峰の茶屋を経て、峠の茶屋へ無事下山しました。



左の地図は今回の軌跡

右の地図の赤ポチが湯だまりのある地点